

化学療法後温存手術も

建する治療を選ぶ患者が増えている。一覧表には「同時再建手術件数」と「温存率（全手術に対する温存手術の割合）」を載せた。

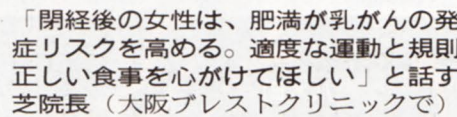
病院の
実力

ていなければ、周辺組織を1、2センチ含めて部分切除後、放射線を照射する「温存手術」が行われる。しこりが大きくても手術前に化学療法を行って小さくしてから手術し、乳房を温存できる場合もある。

一方、画像診断や手術技術の進歩に伴い、乳房を全摘した後、同時に乳房を再

近年、導入が進んでいるのが、がん細胞の遺伝子で再発リスクや薬物療法の効果などを調べる検査だ。代表的なのは「オンコタイプDX」と「マンマプリント」と呼ばれる検査方法で手術後の抗がん剤治療が必要か、などを知る指標になる。ただし、保険がきかず、約40万円かかるのが課題で希望者のみに行う病院が多い。

芝英 大阪ブレストクリニック院長



女性のがんで最も多い乳がんは、早めに適切な治療を受ければ、治るケースが多い。大阪ブレストクリニック（大阪市福島区）の芝英一院長に、早期発見の注意点や治療法の現状などについて聞いた。

（竹内芳朗）

——乳がんの全国的な治療成績は。

いようです。ただし、30歳代後半での発症も決して珍しくないのです。30歳代で検診を受けてもよいでしょう。

ですが、中でも手術が中心となります。

以前は、切除範囲をできるだけ小さくして乳房を残

特に家族や親類に乳がん経験者が複数いる人は、若くして乳がんになりやすい遺伝子を持っている可能性があるがあるので、積極的な受診を勧めます。検診費用の助成を行っている自治体も多いです。

——患者へのアドバイス
を。

では、女性の乳がんの5年生存率は89%でした。女性の全がんの平均が63%なので、比較的治りやすいがんと言えます。ただし、他のがんと同様、早期発見・治療が大切です。

——早期発見のポイント

いので活用しましょう。入浴時に乳房を触ってしこりの有無を調べたり、鏡で乳房の形や皮膚のへこみなどがないか、自己点検を月1回程度行うのも有効です。

——どのような治療法があるのか。

——患者へのアドバイス

乳がんは早期なら、ほぼ治る病気です。がんと診断されることや手術を怖がって、受診が遅れる患者さんが増えていますが、検診や自己点検などで疑いのあることが

に。つ。

乳がん検診の受診です。

対象年齢は地域によって異なりますが、40歳以上が多

＊全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。

都道府県	医療機関名	全手術件数 (件)	同時再建手術 (件)	温存率 (%)	再発リスク検査 (実施の場合は○)
大阪府	大阪プレストク	314	5	71	○
	府立成人病セ	266	63	61	
	近畿大	241	14	58	○
	大阪大	239	30	46	
	大阪医大	203	9	61	○
	大阪市大	202	14	59	○
	国・大阪	198	2	62	○
	北野	182	7	81	○
	大阪市立総合	170	9	58	
	市立貝塚	153	8	39	○
	八尾市立	151	16	62	
	大阪赤十字	150	0	65	○
	関西医大枚方	138	7	52	○
	大阪警察	137	11	50	○
	地・大阪	126	0	73	
	関西医大香里	112	3	61	
	府立急性期・総合	110	7	65	
	淀川キリスト教	102	3	58	
	相原	101	5	82	○
	東大阪市立総合	98	3	68	
	市立堺	93	6	52	
	松下記念	91	1	51	
	ベルランド総合	88	6	69	○
	済生会千里	86	2	45	
	りんくう	80	11	60	
	市立吹田市民	76	12	67	
	日生	72	4	68	
	大阪鉄道	69	0	77	
	市立池田	68	0	51	
	市立枚方市民	66	6	61	
	泉大津市立	66	0	71	
	NTT西日本大阪	61	3	52	○
	関西医大滝井	53	28	19	○
	石切生喜	53	4	92	
	高槻赤十字	53	3	60	
	南大阪	51	0	60	○
	府中	47	19	6	
	あべの松井ク	47	0	96	
	大手前	47	0	64	
	森之宮	46	12	48	○
	国・大阪南	46	2	39	
	ふるかわク	45	8	76	
	済生会富田林	45	2	56	
	ナグモ・ク・大阪	44	35	14	○
	高槻	44	0	39	
	上野ク※	43	4	86	
	茶屋町プレストク	43	2	67	
	済生会吹田	41	0	46	
	PL	36	0	53	
	耳原総合	34	0	56	
城山	32	3	34		
府立呼吸器・アレルギー	23	1	35		
千船	23	0	13		
多根総合	22	0	—		
八尾徳洲会総合	21	1	29		
地・星ヶ丘	21	0	43		
医誠会	21	0	38		
守口敬任会	15	—	47		
市立藤井寺市民	12	0	0		
大阪市立十三市民	8	0	25		
市立柏原	7	1	29		
牧	6	0	50		
国・近畿中央胸部疾患セ	5	0	40		
若草第一	3	0	100		
医真会八尾総合	3	0	100		
結核予防会大阪	2	0	0		
箕面市立	1	0	100		
岸和田徳洲会	1	0	0		

「国・」は国立病院機構。「地・」は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。「ク」はクリニック。「一」は無回答または不明。「再発リスク検査」は調査時点(2014年4~6月)の実施状況で、HER2やホルモン受容体の有無を調べる従来型の検査は含まない。※提携病院で手術

①全手術件数(件) ②同時再建手術(件) ③温存率(%)
④再発リスク検査(実施の場合は○)

